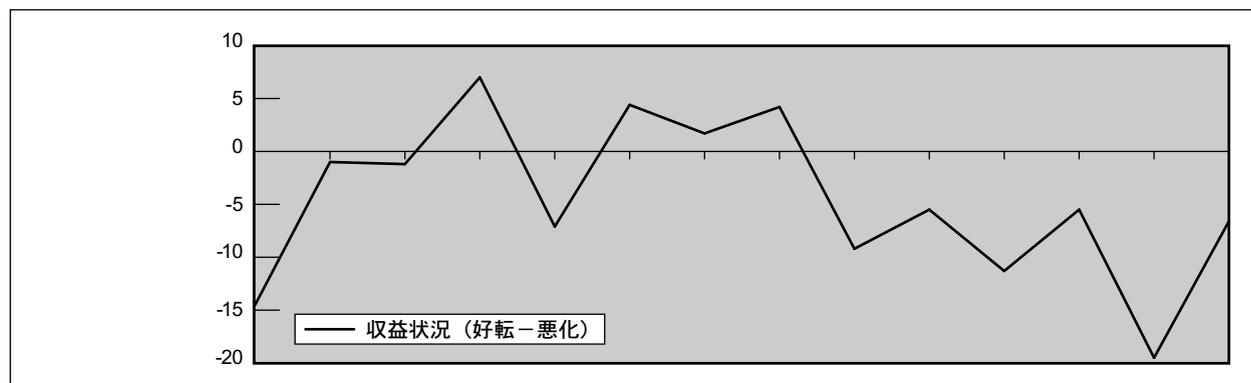


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	17.7	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	9.9	14.6
横 ば い	50.1	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	60.7	64.2
悪 化	32.2	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	29.4	21.2
D . I .	-14.5	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-19.5	-6.6



好転理由

(%) 見込 予測

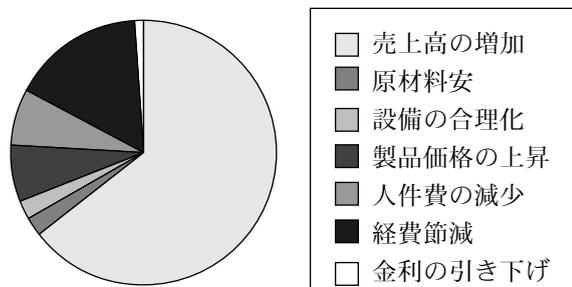
期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の増加	74.4	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	50.0	68.1
原材料安	2.3	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	3.8	1.4
設備の合理化	4.7	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	5.8	4.3
製品価格の上昇	5.8	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	19.2	8.7
人件費の減少	3.5	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	1.9	10.1
経費節減	9.3	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	19.2	7.2
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	0.0	0.0

悪化理由

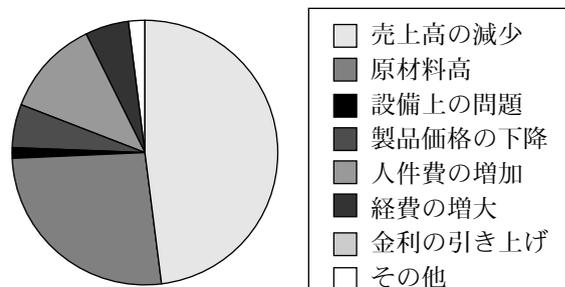
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の減少	60.0	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	51.4	48.1
原材料高	21.1	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	22.3	25.6
設備上の問題	0.6	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.6	1.6
製品価格の下降	7.4	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	6.7	4.7
経費の増大	7.4	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	11.2	11.6
人件費の増加	1.7	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.0	7.0
金利の引き上げ	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	0.0
そ の 他	1.8	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	2.2	1.6

好転理由



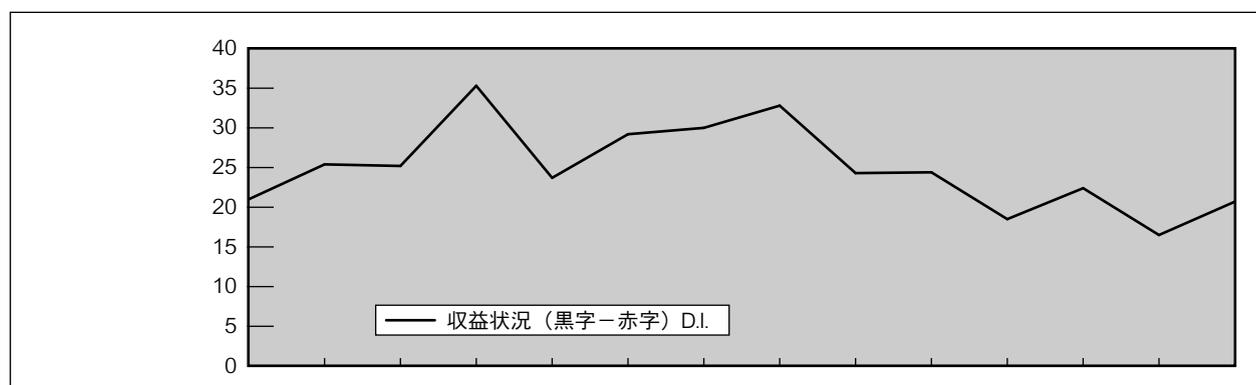
悪化理由



- (1) 10～12月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲5.6と前期比5.7ポイント改善した。先行きについては、20年1～3月期D.I.は悪化となり▲19.5を予想している。しかし20年4～6月期予測では再び改善予想となっている。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、10～12月期実績は、①売上高の増加、②経費節減となり、順位は前回と変わっていない。先行きでは、「売上高の増加」が大幅な理由となっているが、「製品価格の上昇」が高い理由となり、ポイントが増加している。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、10～12月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となった。売上高の減少とするポイントが大幅に増加し、原材料高とするポイントも増加している。先行きについても、売上高の減少を悪化の理由とする企業が、更に増加している。10～12月期は30.4ポイント増加し、1～3月期は更に3.4ポイント増加の予想である。売上高の増加する企業と、減少となる企業に大きく分かれてきている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	D.I. (%)													
	17年				18年				19年				20年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
黒字	43.3	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	34.4	36.4
収支トントン	34.5	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	47.6	47.8
償却後赤字	22.2	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	18.0	15.8
D.I.	21.0	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	16.5	20.7



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、18年4～6月期以降改善してきていたが、19年1～3月期より低下してきていた。しかし、19年10～12月期は22.4と前期比改善となった。先行きのD.I.は、1～3月期16.5と悪化の見込となっている。4～6月期では、20.7と再び改善見込となっている。赤字とする企業は減少しているが、収支トントンとする企業の増加により、D.I.は悪化している。